



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 阿波銀行
 コード番号 8388 URL <https://www.awabank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 長岡 奨
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統括部長 (氏名) 板東 克浩
 四半期報告書提出予定日 2021年1月29日 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 088-623-3131

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	48,481	4.5	9,590	25.2	6,600	28.1
2020年3月期第3四半期	50,807	4.0	12,837	11.0	9,192	9.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 32,225百万円 (88.3%) 2020年3月期第3四半期 17,110百万円 (1,740.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	157.37	
2020年3月期第3四半期	215.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,730,562	282,101	7.5
2020年3月期	3,376,210	252,362	7.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 282,101百万円 2020年3月期 252,362百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		22.50		22.50	45.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,200	6.1	10,700	31.9	7,000	37.2	167.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	43,240,000 株	2020年3月期	43,240,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,325,035 株	2020年3月期	1,049,013 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	41,940,063 株	2020年3月期3Q	42,690,342 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料につきましては、当第3四半期決算短信に添付しております。

【添付資料】

〔 目 次 〕

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
3. 2021年3月期 第3四半期 決算説明資料	
(1) 損益状況(単体)	8
(2) 預金・貸出金等の状況(単体)	9
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)	10
(4) 自己資本比率(国内基準)	11
(5) 時価のある有価証券の評価差額(連結)	11
(6) 地域への貢献及び中小企業に対する貸出金の状況	11

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 利回り、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 ただし、3.(3)金融再生法ベースのカテゴリーによる開示の記載金額、比率については、単位未満を四捨五入しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)の経営成績について、経常収益は、貸出金利息が増収となったものの、有価証券利息配当金が減収となったことなどから、前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)比23億25百万円減収の484億81百万円となりました。

一方、経常費用は、資金調達費用が減少となったものの、貸倒引当金繰入額が増加したことなどから、前第3四半期連結累計期間比9億20百万円増加の388億91百万円となりました。

この結果、経常利益は、前第3四半期連結累計期間比32億46百万円減益の95億90百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間比25億91百万円減益の66億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(2020年12月31日)における財政状態について、総資産額は、前連結会計年度末(2020年3月31日)比3,543億円増加し、3兆7,305億円となりました。また、純資産額は、前連結会計年度末比297億円増加し、2,821億円となりました。

譲渡性預金を含めた預金は、法人預金、個人預金、公金預金ともに順調に増加したことから、前連結会計年度末比2,022億円増加し、3兆1,485億円となりました。

貸出金は、一般貸出金の増加などから、前連結会計年度末比829億円増加し、2兆458億円となりました。

有価証券は、安全性・流動性を重視しつつ効率的な運用に努めた結果、前連結会計年度末比133億円増加し、1兆88億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期(通期)の業績予想につきましては、2020年11月13日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	287,164	549,360
コールローン及び買入手形	2,151	—
買入金銭債権	1,149	1,320
商品有価証券	917	772
有価証券	995,428	1,008,822
貸出金	1,962,862	2,045,859
外国為替	11,070	6,737
リース債権及びリース投資資産	28,802	29,090
その他資産	47,308	49,282
有形固定資産	37,396	36,910
無形固定資産	5,164	5,030
退職給付に係る資産	5,261	5,246
繰延税金資産	269	268
支払承諾見返	8,437	9,353
貸倒引当金	△17,174	△17,491
資産の部合計	3,376,210	3,730,562
負債の部		
預金	2,771,127	3,009,678
譲渡性預金	175,149	138,825
コールマネー及び売渡手形	20,024	—
債券貸借取引受入担保金	58,470	29,030
借入金	53,610	215,026
外国為替	83	17
その他負債	25,493	24,167
賞与引当金	22	—
役員賞与引当金	53	24
退職給付に係る負債	505	352
役員退職慰労引当金	10	8
株式報酬引当金	139	176
睡眠預金払戻損失引当金	427	349
偶発損失引当金	1,043	1,038
繰延税金負債	6,515	17,706
再評価に係る繰延税金負債	2,730	2,704
支払承諾	8,437	9,353
負債の部合計	3,123,847	3,448,461

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
資本金	23,452	23,452
資本剰余金	20,106	20,106
利益剰余金	169,299	174,147
自己株式	△2,892	△3,577
株主資本合計	209,966	214,129
その他有価証券評価差額金	40,516	65,692
繰延ヘッジ損益	△2,479	△2,057
土地再評価差額金	5,184	5,134
退職給付に係る調整累計額	△824	△796
その他の包括利益累計額合計	42,396	67,972
純資産の部合計	252,362	282,101
負債及び純資産の部合計	3,376,210	3,730,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

① 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
経常収益	50,807	48,481
資金運用収益	29,320	27,828
(うち貸出金利息)	17,784	17,971
(うち有価証券利息配当金)	11,330	9,694
役務取引等収益	6,319	5,955
その他業務収益	11,269	11,789
その他経常収益	3,898	2,907
経常費用	37,970	38,891
資金調達費用	3,193	1,689
(うち預金利息)	735	516
役務取引等費用	848	849
その他業務費用	9,543	10,066
営業経費	21,347	21,255
その他経常費用	3,037	5,029
経常利益	12,837	9,590
特別利益	32	0
固定資産処分益	32	0
特別損失	72	402
固定資産処分損	39	28
減損損失	32	373
税金等調整前四半期純利益	12,797	9,188
法人税等	3,595	2,588
四半期純利益	9,202	6,600
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,192	6,600

②四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益	9,202	6,600
その他の包括利益	7,907	25,625
その他有価証券評価差額金	7,847	25,176
繰延ヘッジ損益	249	421
退職給付に係る調整額	△188	27
四半期包括利益	17,110	32,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,114	32,225
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

税金費用につきましては、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

また、一部の連結子会社の税金費用は、税引前四半期純利益に、前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じることにより算定しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済への影響は、前連結会計年度末においては、2020年秋頃まで株式市場をはじめ金融市場の不安定な局面が継続し、その後、世界経済が徐々に回復するとの仮定に基づいておりました。

しかしながら、当感染症の収束が見通せない状況が続いていたため、第2四半期連結会計期間において、当感染症拡大の影響は2020年度中は継続するものの、経済・金融安定化のため世界協調で金融緩和が継続されることにより、金利上昇が抑制され、緩和マネーが金融市場を下支えする状況が当面継続するとの仮定に変更しました。

当第3四半期連結会計期間においては、こうした仮定のもと、当行グループでは特に貸出金等の信用リスクに一定の影響があると認識し、見積りに影響を及ぼす入手可能な情報を考慮して債務者区分を決定し貸倒引当金を計上しております。ただし、当該仮定には不確実性があり、収束時期の遅延など新型コロナウイルス感染症の状況や経済への影響が変化した場合には、損失額が増減する可能性があります。

3. 2021年3月期 第3四半期 決算説明資料

(1) 損益状況(単体)

当第3四半期のコア業務純益は、新型コロナウイルス感染症の影響による営業活動の制約等により役務取引等利益が減益となったものの、経費の削減に努めたことから前年同期比3億39百万円増益の107億70百万円となりました。

一方、経常利益及び四半期純利益は、有価証券関係損益が減益となったほか、実質与信費用が増加したことなどから、それぞれ同28億55百万円減益の85億86百万円、同23億75百万円減益の59億18百万円となりました。

なお、2021年3月期通期の業績予想に対する進捗率は概ね計画通り推移しております。

	2021年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2020年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	前年同期比 (A)-(B)	(単位:百万円) 2021年3月期 通期業績予想 (進捗率)
経常収益	36,368	38,652	△2,283	48,100 (75.6%)
業務粗利益(除く国債等債券関係損益)	30,874	30,910	△36	
資金利益	26,133	26,145	△12	
役務取引等利益	4,116	4,480	△364	
その他業務利益 (除く国債等債券関係損益)	624	284	339	
経費(臨時処理分を除く)	20,103	20,480	△376	
実質業務純益 (業務純益(一般貸倒引当金繰入前))	10,648	10,654	△5	
コア業務純益	10,770	10,430	339	14,600 (73.7%)
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	10,230	8,893	1,337	
一般貸倒引当金繰入額①	499	129	369	
業務純益	10,149	10,524	△374	
うち国債等債券関係損益②	△121	223	△345	
臨時損益	△1,563	917	△2,480	
不良債権処理額③	3,128	2,209	918	
個別貸倒引当金繰入額	2,847	2,039	807	
偶発損失引当金繰入額	△4	13	△18	
その他の債権売却損等	286	156	129	
償却債権取立益④	342	600	△257	
株式等関係損益⑤	1,303	2,274	△970	
その他の臨時損益	△81	252	△333	
経常利益	8,586	11,441	△2,855	10,400 (82.5%)
特別損益	△376	3	△380	
四半期純利益	5,918	8,293	△2,375	7,000 (84.5%)
有価証券関係損益(②+⑤)	1,182	2,498	△1,316	
実質与信費用(①+③-④)	3,285	1,739	1,546	

(注) 2021年3月期通期業績予想は、2020年11月13日公表数値です。

(2) 預金・貸出金等の状況(単体)

① 預金の残高

譲渡性預金を含めた預金の残高は、前年同期(2019年12月末)比で個人預金および法人預金
がそれぞれ増加したことから、同2,034億円の増加となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2020年12月末	2019年12月末比	2020年3月末比	2019年12月末	2020年3月末
預 金 (A)	30,142	2,395	2,395	27,746	27,746
譲渡性預金 (B)	1,428	△ 360	△ 363	1,789	1,791
総 預 金 (A)+(B)	31,570	2,034	2,032	29,535	29,537
うち個人預金	20,011	991	1,143	19,019	18,867
うち法人預金	9,031	1,251	1,084	7,779	7,947
うち公金預金	2,062	△ 148	69	2,210	1,992

② 預かり資産の残高

預かり資産の残高は、お客さまのニーズへのきめ細かな対応に努めたものの、前年同期
比82億円の減少となりました。なお、前年度末(2020年3月末)比では、投資信託が同84億円
増加したことなどから、83億円の増加となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2020年12月末	2019年12月末比	2020年3月末比	2019年12月末	2020年3月末
公 共 債	337	8	27	328	310
投 資 信 託	787	△ 14	84	801	703
個人年金保険等	2,228	△ 77	△ 28	2,305	2,256
合 計	3,353	△ 82	83	3,435	3,270

③ 貸出金の残高

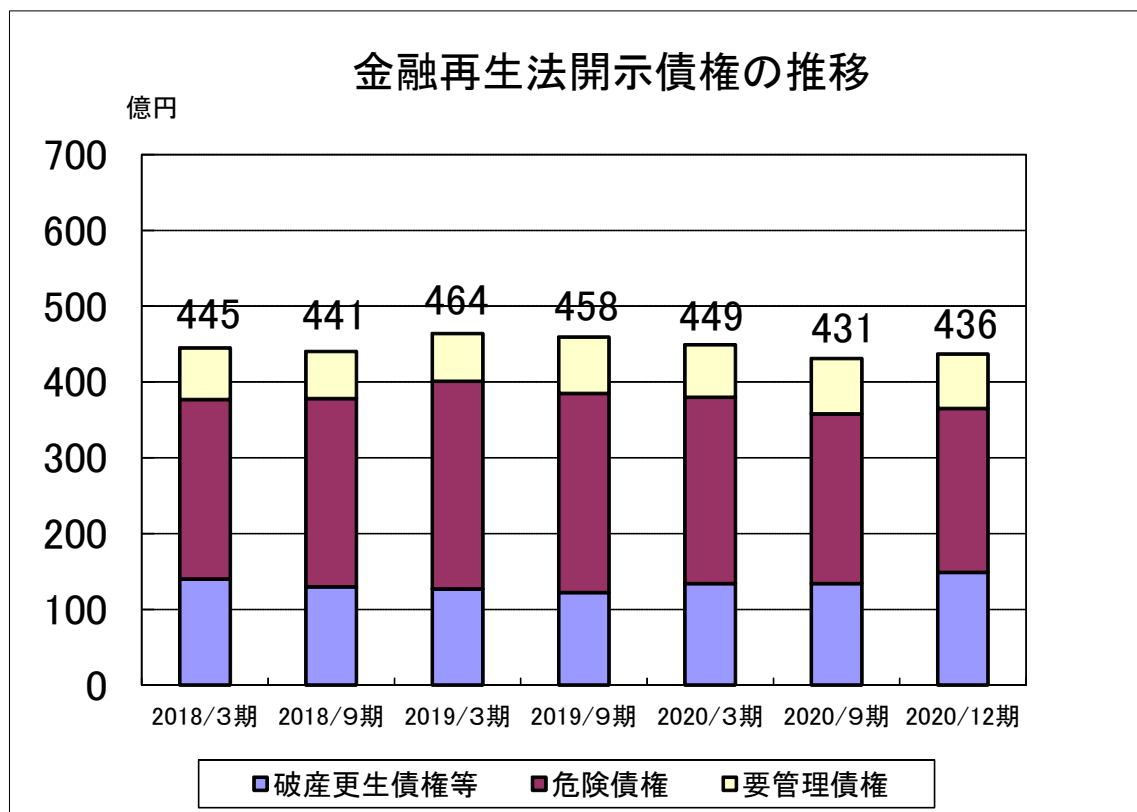
貸出金の残高は、地方公共団体等向けが前年同期比155億円減少したものの、新型コロナ
ウイルス感染症拡大に伴う影響を受けたお客さまへの積極的な資金繰り支援などに取組んだ
ことなどから、一般貸出金が同1,103億円、個人ローンが住宅ローンを中心として同63億円
それぞれ増加し、全体では同1,011億円の増加となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2020年12月末	2019年12月末比	2020年3月末比	2019年12月末	2020年3月末
貸出金(未残)	20,430	1,011	825	19,419	19,605
一 般 貸 出	15,546	1,103	923	14,443	14,622
地 公 体 等	1,748	△ 155	△ 138	1,903	1,886
個人ローン	3,136	63	40	3,072	3,095
うち住宅ローン	2,891	72	54	2,819	2,836

(3) 金融再生法ベースの категорияによる開示(単体)

開示債権合計額は、前年同期比8億円減少し、436億円となりました。また、総与信残高に占める開示債権の比率は同0.16ポイント低下し、2.10%となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2020年12月末	2019年12月末比	2020年3月末比	2019年12月末	2020年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	149	22	14	127	134
危険債権	216	△30	△30	246	246
要管理債権	72	0	4	72	69
開示債権合計	436	△8	△12	445	449
正常債権	20,311	1,054	870	19,257	19,441
総与信残高	20,747	1,045	858	19,702	19,890
総与信残高比	2.10%	△0.16%	△0.16%	2.26%	2.26%



(4) 自己資本比率(国内基準)

自己資本比率(国内基準)につきましては、現在集計中であり、計数が確定次第、別途お知らせいたします。

(5) 時価のある有価証券の評価差額(連結)

「その他有価証券」の評価差額は、株式の評価差額が減少したことなどから前年同期比114億減少の959億円の評価益となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2020年12月末	2019年12月末比	2020年3月末比	2019年12月末	2020年3月末
その他有価証券	959	△114	361	1,074	598
株式	698	△91	190	789	507
債券	77	△32	△7	110	84
その他	184	9	178	175	6

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、評価差額は連結貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。なお、時価は、株式については当第3四半期連結会計期間末月1カ月の平均時価に、それ以外は当第3四半期連結会計期間末日の時価に基づいております。
2. 有価証券のほか、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。
3. なお、「満期保有目的の債券」及び「時価のある子会社・関連会社株式」の保有残高はございません。

(6) 地域への貢献及び中小企業に対する貸出金の状況

① 中小企業等貸出金残高の状況

中小企業等貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響を受けたお客さまへの積極的な資金供給に努めたことなどから、中小企業貸出金残高が前年同期比1,035億円、個人ローン残高が同63億円それぞれ増加し、全体では同1,099億円の増加となりました。

なお、中小企業等貸出金比率は、同1.30ポイント上昇し、83.74%と高い水準を維持しております。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2020年12月末	2019年12月末比	2020年3月末比	2019年12月末	2020年3月末
中小企業等貸出金残高	17,108	1,099	863	16,009	16,245
中小企業貸出金残高	13,972	1,035	823	12,937	13,149
個人ローン残高	3,136	63	40	3,072	3,095
中小企業等貸出金比率	83.74%	1.30%	0.88%	82.44%	82.86%

② 地域別貸出金の状況

地域別貸出金の状況は、徳島県内（前年同期比 302 億円）、関西地区（同 295 億円）、徳島県以外の中四国地区（同 147 億円）及び関東地区（同 265 億円）のいずれの地区においても増加となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2020年12月末	2019年12月末比	2020年3月末比	2019年12月末	2020年3月末
徳島県内	11,519	302	226	11,217	11,293
関西地区	4,422	295	257	4,127	4,165
徳島県以外の中四国地区	1,840	147	98	1,692	1,741
関東地区	2,647	265	242	2,382	2,405
合計	20,430	1,011	825	19,419	19,605

③ 信用保証協会付融資の状況

信用保証協会付融資残高は、前年同期比 1,296 億円増加し、2,344 億円となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2020年12月末	2019年12月末比	2020年3月末比	2019年12月末	2020年3月末
信用保証協会付融資残高	2,344	1,296	1,276	1,048	1,068

以上